

英語科学習指導案

日時 平成30年6月1日(金) 公開授業Ⅱ
学級 岩手大学教育学部附属中学校
3年A組39名
会場 3B3C教室
授業者 山蔭 理恵

1 単元名 Lesson 3 Rakugo Goes Overseas (NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3)

2 単元について

(1) 生徒観

これまで生徒は、日本や外国の地理・歴史・文化や児童文学、古典、世界遺産、将来の夢、プレゼンテーションなど、様々な題材を通して英語の学習をしてきた。語彙や文法事項などの習得に終始せず、それらを実際に活用し、内容や目的に応じた聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの活動を統合的に行っている。

授業の反応は前向きで、英語でのやり取りの場面では、何とかして自分の考えや思いを英語で伝えようという姿勢が見られる。言語の形式面ではなく、その言語で表現された内容面を重視し、感動したり、悩んだりすることができる心の豊かさを大事にしていきたい。これまで生徒たちは、活動姿勢についての振り返りができる一方で、自らの表現する英語の適切さ・正確さについて質的に振り返るという点では不十分であった。目標に対する段階的な基準となるルーブリック評価表を生徒と教師が共有し、自らの英語力の自覚化と向上の道筋を具体的に把握させたい。

単元のはじめに「岩手の伝統文化発信」についてリフレクションシートに自由記述させたところ、ほとんどの生徒が盛岡さんさ踊りや南部鉄器、浄法寺塗など、岩手の身近な伝統文化を挙げ、紹介文を書こうとしていた。一方で、発信したい理由については、祭りや工芸品の一般的な紹介にとどまっており、対象となる外国人を意識しきれていないと言える。単元の学びを通して、本単元の題材である落語のみならず岩手の伝統文化についても多面的にとらえ、歴史的価値や国内外の同種文化との比較など、考えを広げながら発信の視点をもたせたい。

(2) 教材観

本単元は、新『中学校学習指導要領解説外国語編』の目標「(4) 話すこと[発表] イ 日常的話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」にあたることを考える。

この単元では日本人話者による英語落語が題材として取り上げられており、落語の紹介場面と、英語落語を海外で演じ続ける理由についてインタビューを行う場面で構成されている。対話やインタビューの内容を聞いたり読んだりしながら、級友や教科書の登場人物の考えに触れ、海外に発信したい地元岩手の伝統文化についても考えを深めさせたい。言語材料としては、現在完了形の完了用法、経験用法について学習する。現在完了形は過去と現在を繋ぐ意味合いをもち、事象についてよりダイナミックに表現することのできる言語材料である。「岩手の伝統文化」を語る過程で、前単元で学習した継続用法も含め、現在完了形を適切かつ正確に活用できるようにさせたい。

小学校外国語活動及び外国語科においては、以下の目標に則り学習をすることから、自己を中心とした一面的なもの見方から相手を意識した多面的なもの見方へと広がりをもたせた上で、伝統文化というテーマについて考えさせていきたい。また、表現可能な英文の幅も広がることから、前後の文のつながりや段落構成など、まとまりのある内容を表現できるように授業を展開していきたい。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○小学校第3学年及び第4学年 外国語活動の目標 話すこと[発表]ウ
「日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。」</p> <p>○小学校第5学年及び第6学年 外国語科の目標 話すこと[発表]ウ
「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) 学びの本質に迫る指導とその評価について

本校英語科では、新学習指導要領の完全実施に向け、今までの学びの本質を、文部科学省が示した外国語科における「資質・能力」と、本校学校教育目標「よく考え、誠をもって働く人間」に沿って整理し直した（教科論参照）。それを踏まえて本單元における学びの本質を、「岩手の伝統文化を海外に発信する活動場面において、習得した知識・技能を活用し、自分の選んだ伝統文化について相手意識をもってスピーチをしたり、級友のスピーチを共感的に聞いたりすること」とする。日本の伝統文化、特に岩手の伝統文化の海外発信というテーマについて、単元で学んだ言語材料やテーマに対する様々な考え方をもとに、発信したい文化とその理由を形成・再構築し、スピーチで伝えることをねらいとしたい。

単元の学びの本質に向かう過程では、教科論の研究内容にも示している通り、視点3「生徒と共につくるルーブリック」を基に学びの本質に迫っていく。教師のみならず、生徒自身が単元のルーブリックを何度も活用し、自己評価や相互評価を繰り返すことができるような場面を設けていく。また、視点5「信頼性のあるルーブリック」にある通り、単元末のパフォーマンス評価を行う場面でも同様のルーブリックを用い、生徒一人一人が実際にスピーチを行う姿、スピーチを聴く姿を評価したい。

視点3「生徒と共につくるルーブリック」

パフォーマンス評価を実施する上で、ルーブリック（成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を記した記述語からなる評価基準）を作成、活用し、学習者のパフォーマンスの質的向上を図る。ルーブリックは、自らの実態を客観的にとらえ、主体的に目標に向かうことができるようにするため、教師からの一方的な提示ではなく、生徒と共に合意形成を図りながら作成し、活用することが望ましいと考える。「岩手の伝統文化を世界に発信すること」についての情報を整理し、スピーチをするうえで「何を」「どれくらい」できれば良いかを吟味することで、生徒の自己評価、相互評価能力の向上にもつなげたい。質の高いフィードバックの繰り返しを生徒たちによって行うことで、パフォーマンスの質的向上につなげたい。

視点5「信頼性のあるルーブリック」

ルーブリックは、3（2）で述べたように、生徒と共有し実際に自己評価や相互評価をさせて活用する。このことから、評価の基準が読み手（評価する人）の能力や理解の程度に左右されないよう注意を払う必要がある。そこで、評価場面の事前に全員で共通理解を図ることは勿論だが、それに加えて、記述語を読み取り評価する際の「視点・ポイント」（見方・考え方にあたりと考える）を具体的に示し、その視点がパフォーマンスに表出したかどうかでそのレベルに達しているかどうかを判断する。いつ、誰が見取ったとしても一定の評価がなされる、信頼性のあるものにしたい。

3 単元の指導計画および評価計画

(1) 育成を目指す資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・岩手の伝統文化を紹介する場面において、単元やそれ以前に学習した語彙(文化, 理由, 形用), 文法(現在完了), 文章構成(Opening-Body-Closing)などを関連づけて活用できる力。	・岩手の伝統文化という話題について, その文化の説明や薦めたい理由を整理し, 相手意識をもって再構築した上で適切に表現することができる力。	・岩手の伝統文化について, 聞き手に配慮し, 分かりやすい英語で伝えようとする態度。 ・岩手の伝統文化について, 話し手のスピーチを共感的かつ意欲的に聞く態度。

(2) 指導目標

- ①岩手の伝統文化について, 文化の説明や薦めたい理由を相手に適切に表現させる。
【思考力・判断力・表現力】
- ②岩手の伝統文化について発表するために必要な語彙, 文法, 文章構成について正しく理解させ, 適切に使わせる。
【知識・技能】
- ③聞き手, 話し手が相互に配慮し合い, 共感的にコミュニケーションを図る態度を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○ 迫るための評価	①①単元で学習する語彙の形, 意味, 使い方を理解しており, 実際の場面で使う技能を身に付けている。	①①話すこと〔発表〕 岩手の伝統文化について, 再構築したその文化の説明や薦めたい理由を, 英語で適切に発表することができる。 〔視点1〕相手を見る(原稿を見ない) 〔視点2〕構成(順序立て, 間, 強調) 〔視点3〕英語らしさ	
● 迫ったかを見とる評価	②②単元の新出文法(現在完了形の完了用法, 経験用法)を含む文について, 形, 意味, 使い方を理解しており, 実際の場面で使う技能を身に付けている。	②②書くこと 岩手の伝統文化について, その文化の説明や多面的な情報を整理し, 適切に再構築することができる。 〔視点1〕構成 〔視点2〕相手意識 〔視点3〕既習表現の活用	①話し手 岩手の伝統文化について, 聞き手に配慮し, 分かりやすい英語で伝えている。 〔視点1〕目線, 声量 〔視点2〕相手意識(速さ, ジェスチャー) 〔視点3〕相手への配慮 ②聞き手 岩手の伝統文化について, 話し手に配慮し, 共感的かつ意欲的に聞いている。 〔視点1〕目線 〔視点2〕反応 〔視点3〕関連質問 ③テーマについて関心をもち, 自分の考えや気持ちについて積極的に相手と交流している。

※網掛けの項目については, パフォーマンス評価として質的な評価を行う。

(4) 指導と評価の計画

時	学習課題 ・ 学習内容 ◆ 指導の留意点	評価規準	評価の観点		
			知技	認識	態度
1	<p>What kind of Iwate traditional culture do you want to share? (Introduction)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元のゴール (海外に発信したい岩手の伝統文化について紹介すること) を知る。 ・単元の学習の流れを確認する。(リフレクションシート) ・岩手の伝統文化について自由に記述し, 交流する。(Before Lessons) ・単元のまとめの活動のルーブリック評価表の視点・ポイントについて, 合意形成を図りながら共に作成する。 <p>◆既習表現を用いて, 辞書を使わず自力で記述させる。 ◆より平易な表現へのパラフレーズ (言い換え) に気付かせる。</p>	<p>③ 岩手の伝統文化についての関心を持ち, 現時点での自分の考えについて, 既習表現を用いながら相手と交流している。</p>			③
2	<p>Make an original skit! (GET1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の完了用法を含む文の構造を理解する。 ・現在完了形の完了用法を含む文をつくる練習をする。 ・教科書本文を参考にしながら, 現在完了形の完了用法を用いてオリジナルスキットを作り, 発表する。 <p>◆発表の際のルールを確認する。 ◆コミュニケーションが苦手な生徒への声がけ, 支援を行う。</p>	<p>①② 新出語彙や現在完了形の完了用法を含む文の形, 意味, 使い方を理解している。 ③ スキット作りについての関心を持ち, 新出表現を用いながら相手と交流している。</p>	① ②		③
3	<p>Which city have you been to? (GET2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法を含む文の構造を理解する。 ・現在完了形の経験用法を含む文をつくる練習をする。 ・教科書本文を参考にしながら, 現在完了形の経験用法を用いてインタビュー活動を行い, 聞き取った内容を英文で書く。 <p>◆席を移動することで, 様々な人と交流させる。 ◆コミュニケーションが苦手な生徒への声がけ, 支援を行う。</p>	<p>①② 新出語彙や現在完了形の経験用法を含む文の形, 意味, 使い方を理解している。 ③ インタビュー活動についての関心を持ち, 新出表現を用いて複数の相手と交流している。</p>	① ②		③
4	<p>Why has Ms. Oshima performed rakugo in English? (USE-R)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の日本文化紹介 (落語) について, まとまった量の英文を読み, 英問英答を行いながら概要を把握する。 ・教科書本文のリテリングをしながら, ルーブリックによる相互評価の練習を行う。 <p>◆英問英答では, 答えだけでなく根拠となる文を挙げさせる。 ◆ルーブリックを用いた評価について, 生徒とよく共有した上で行う。</p>	<p>① スピーチの構成を理解し, 情報を整理した上で, 発表をすることができる。 ③ スピーチと相互評価の練習をグループ内で行い, 交流する中でアドバイスをし合っている。</p>		①	③
5	<p>Let's introduce and recommend rakugo. (USE-R)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の日本文化紹介 (落語) について, 追加資料の英文を読み, 英問英答を行いながら概要を把握する。 ・英語落語の動画を視聴し, 題材についてより詳しく知る。 ・資料を参考にしながら, 海外に発信したい岩手の伝統文化の要素について考える。 ・資料のリテリングやリライティングをしながら, ルーブリックによる相互評価の練習を行う。 <p>◆英問英答では, 答えだけでなく根拠となる文を挙げさせる。 ◆ルーブリックを用いた評価について, 生徒とよく共有した上で行わせる。</p>	<p>①② スピーチの構成を理解し, 情報を整理した上で, 発表をすることができる。 ③ スピーチと相互評価の練習をグループ内で行い, 交流する中でアドバイスし合っている。</p>		① ②	③

6	<p>Let's recommend a traditional culture in Iwate. (まとめ-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手の伝統文化について、インターネットを用いて調べ学習を行い、情報を収集、整理する。 ・スピーチで使用する写真資料を作成する。 	<p>③ 岩手の伝統文化に関心を持ち、資料を作成しながら情報を整理しようとしている。</p>			③
7	<p>Let's recommend a traditional culture in Iwate. (まとめ-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した写真資料を用いて、スピーチの練習を行う。 ・作成した写真資料や発表の対象、制限時間などの条件を基に、スピーチを再構成する。 ・4人グループ内でそれぞれの選んだ伝統文化について交流し合う。 ・スピーチ後に質問時間を設け、即興でやり取りをする練習を行う。質問が思いつかない場合は、感想を述べる。 ・ルブリックによる相互評価を行い、単元のまとめに繋げる。 ◆最初からスピーチ原稿を書くのではなく、即興で繰り返し話す練習を重ねさせる。 ◆辞書活用のタイミングを限定し、平易な表現へのパラフレーズを意識させる。 	<p>①②スピーチの構成を理解し、情報を整理した上で、発表をすることができる。</p> <p>③ スピーチと相互評価の練習をグループ内で行い、交流する中でアドバイスし合っている。</p>		① ②	③
8	<p>Let's recommend a traditional culture in Iwate. (まとめ-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手の伝統文化について、スピーチを推敲する。 ・本番に向けて、ペアを組み替えながらスピーチの練習を繰り返す。 ・発表を相互に iPad で撮影する。(相互評価に使用) ・スピーチ後に質問時間を設け、即興でやり取りをする練習を行う。質問が思いつかない場合は、感想を述べる。 ◆様々なペアでスピーチを練習し合う中で、相互評価の機能を高めさせる。 	<p>①②スピーチの構成を理解し、情報を整理した上で、発表をすることができる。</p> <p>★③ スピーチと相互評価の練習をグループ内で行い、交流する中でアドバイスし合っている。</p>		① ②	★ ③
9 本時	<p>Let's recommend a traditional culture in Iwate. (まとめ-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表について、前時の自分たちの発表を振り返り、良い点や改善点を話し合う。 ・発表の練習を行い、ペアで評価し合う。 ・グループを組み替え、2回のスピーチ発表を行う。 ・発表を相互に iPad で撮影する。(VTR 評価に使用) ・感想、質問時間も含め録画する。 ・代表数名が学級の前で発表し、聞き手は感想や質問を述べる。 ・発表の振り返りを記入する。(リフレクションシート) ◆単元の学習を通してできるようになったこと、成長したことを共有する。 	<p>① 岩手の伝統文化について、再構築した自分の考えやその理由を、英語で適切に発表することができる。</p> <p>① 岩手の伝統文化について、聞き手に配慮し、分かりやすい英語で伝えている。</p> <p>② 岩手の伝統文化について、話し手に配慮し、共感的かつ意欲的に聞いている。</p>		①	① ②
10	<p>Review the Lesson 3. (テスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テストを行い、語句や文法の定着を確かめる。 ・単元の学習の振り返りを行う。(リフレクションシート) ・岩手の伝統文化について、他者から学んだ内容も含めて自由に記述し、交流する。(After Lessons) 	<p>①② 新出語句や to 不定詞を含む文の形、意味、使い方を理解している。</p> <p>② 岩手の伝統文化について、自分の考えや多面的な情報を整理し、適切に再構築して書くことができる。</p>		① ②	②

★は観点について重点的に見取る時間

4 本時について

(1) 主題 Let's recommend a traditional culture in Iwate.

(2) 指導目標

- ・岩手の伝統文化について、再構築した自分の考えやその理由を、英語で適切に発表させる。
- ・岩手の伝統文化について、話し手・聞き手が相互に配慮し、共感的・意欲的に考えを伝え合わせる。

(3) 評価規準

- ①岩手の伝統文化について、再構築した自分の考えやその理由を、英語で適切に発表することができる。
【思考力・判断力・表現力】
- ①岩手の伝統文化について、聞き手に配慮し、分かりやすい英語で伝えている。
【主体的に学習に取り組む態度】
- ②岩手の伝統文化について、話し手に配慮し、共感的かつ意欲的に聞いている。
【主体的に学習に取り組む態度】

(4) 指導および評価の構想

本時は単元のまとめの活動の時間であり、単元を貫く「岩手の伝統文化」というテーマについて、単元の学びを経て整理・再構築した自分の考えを英語で発表（スピーチ）するまとめの1時間である。

展開では、はじめに、前時に撮影した自分と他者のスピーチ練習の様子を映像で確認する。話すこと〔発表〕と態度〔話し手〕の項目について、ルーブリックと照らし合わせながら、すでにできていることや優れている部分（参考にしたい部分）、まだできていないこと、自分の弱点などを分析、認知する。一つ上の基準を達成するために、何をどう頑張ればよいのかという道筋を示し、改善のための練習時間を保障した上で、意欲的に本番のスピーチに臨ませたい。

展開の中盤では、座席移動の後4人グループで岩手の伝統文化についてスピーチをする。スピーチが一人終わるごとに、質問・感想交流時間を設ける。話し手・聞き手が互いに相手意識をもって配慮し合いながら、共感的かつ意欲的に互いの考えやその理由について交流する場としたい。また、内容に耳を傾けるのはもちろんのこと、相手の発表姿勢、聞く姿勢などの質についても、ルーブリックを活用しながら考え続けさせたい。

終結ではリフレクションシートを用いて、本時を含む単元の振り返り行う。学習した言語材料に特化せず、題材や活動を通して学んだこと、考えたことなどを記述させ、次の単元での学びにつなげたい。

(5) 本時の展開

段階	学習内容および学習活動 ■ 学びの本質に迫る指導の工夫 ・ 予想される生徒の反応等	時間 (分)	評価規準および評価方法 ○ 学びの本質に迫るための評価 ● 学びの本質に迫ったか見とる評価
導入	0 3分前学習 ・ 英語の歌”See You Again”を歌う。 1 あいさつ 2 ゴールの確認 ・ 本時のねらいと流れを共有する。 ・ 発表のポイント（話し手・聞き手）を再確認する。	5	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> Let's recommend a traditional culture in Iwate. </div> 3 前時の振り返り（映像） ・ 前時の自分や他者の映像を視聴する。 ・ 4人グループで本番のスピーチに向け、良い点や改善したい点を具体的に考える。 ■ ルーブリックを用いて、相互評価を行う。 4 発表練習 ・ 3で出たポイントを意識しながら、個人で練習する。 ■ ルーブリックを用いて、さらに相互評価を行う。 5 発表 ・ 新たな4人グループを組み、岩手の伝統文化について発表を行う。 ・ 発表の後、聞き手全員が質問または感想を述べる。 ・ 発表と質問・感想を述べる場면을iPadで記録する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> 【グループ内の役割分担】 ① 発表者（時計回り） ② 記録者（発表者の向かいの人） ③ 質問・感想（発表者の隣の人から時計回り） 6 共有 ・ 代表数名が学級全体の前で発表を行う。 ・ 聞き手は、発表の後に質問・感想を述べる。 ・ 良かったところ、次回参考にしたい点について共有する。	10 5 20 5	① 岩手の伝統文化について、再構築した自分の考えやその理由を、英語で適切に発表することができる。【思判表】（後日VTR評価） ① 岩手の伝統文化について、聞き手に配慮し、分かりやすい英語で伝えている。【態度】 ② 岩手の伝統文化について、話し手に配慮し、共感的かつ意欲的に聞いている。【態度】
終結	7 学びの振り返り（Reflection） ・ 発表の振り返りを文章で記述する。 8 あいさつ	5	